

令和4年度・先輩と語る会

- 日時 令和4年5月11日(水) 6限
- 対象 2年生全員(文理別)
- 講師 本校卒業生(教育実習生)

●先輩方からのアドバイス

- とにかく授業を大切にす。友人と教えあったり、原理や解き方を説明したりして授業内容の理解を深めると、一層効果が高まる。
- 外部模試はもちろんだが、定期考査やそれに向けての学習をきちんと行う中で、基礎力をつけていくとよい。
- 同じ(似た)名前の学部・学科でも、大学によって研究している内容が大きく異なることが多い。学部名などの表面的な部分を調べるにとどまらず、(現段階では理解できないことも多いが)研究内容まで深く調べるとよい。
- ともに頑張る友人を大切にす。つらいとき、苦しいときの心の支えになる。



●生徒の感想より(一部抜粋)

- 曖昧な気持ちで大学や学部を決めるのではなく、好きなことや仕事にしたいことと繋げて決めたいと思った。
- 小テストや定期テストに全力を出して、その場しのぎの勉強をやめ、自分のためになる勉強をしていきたい。
- どの分野の勉強に対しても「ためにならない」と嘆くのではなく「どうしたら自分のためになるのか」を自分の頭で考え、確実に自分のものにしていきたい。



2年生がスタートして1か月が経ち、自分自身の進路について少しずつ真剣に考えようとしている生徒が多い中、先輩方の実験の経験、現在の生活に基づく貴重なお話を聞くことができました。先輩方のアドバイスをもとに、学習への取り組み姿勢を改めたり、進路に対する考えを深めたりしようするなど、意欲を高められたようでした。

3週間後には中間考査も控えています。「定期考査を大切に」という多くの先輩方からのアドバイスを胸に、自分のためになる努力を今日から積み重ねていきましょう。

先輩方、お忙しいところありがとうございました！